

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

～伝えたい想い届ける十七字～

主催 福島県教育委員会

絆部門 最優秀賞

パパのため あかりをつけて 帰り待つ(子)
ほろよいで 灯る明かりの うれしさよ(父)

なに読もう まいしゅう土曜日 としょかんへ子
読む本の 変化に感じる 子の成長(母)

やきんのひ はたらく母を まつわたし(子)
あと少し 母に戻れる 待つててね(母)

父さんの 靴に手紙を 入れるほく(子)
明け方の 車中で我が子の 想い知る(父)

ごめんなさい素直に言えず メールする(子)
メールでは 素直な娘に 苦笑い(母)

絆部門 優秀賞

まにあった 洗たくぬれず 良かったね(子)
黒い雲 雨がそこまで 迫ってる(母)

父とほく 同じねぞうに 母笑う(子)
イビキまで 似てると言われ 照れわらい(父)

じいちゃんば ぼくの先生 もの知り名人(孫)
孫を連れ 冒険始まる 日曜日(祖父)

父と風呂 はずむ会話へ あふれる湯(子)
単身の 疲れを癒す 家の風呂(父)

真夜中に 音を立てずに 歯をみがく(子)
受験生 寝静まるまで 耳澄まし(母)

復興部門 最優秀賞

しよっぱいな 八年ぶりの 波しぶき(子)
あの時は お座りしてた 砂の上(母)

ぼつはてい どんどんどん できかなる(子)
海見えず すこしさみしい 波の音(父)

石垣と 共に積まれた 強い意思(子)
小峰城 戊辰も地震も くぐり抜け(父)

復興を 願う駅舎に 人の波(母)
福島と 未来へつながる 鉄の道(子)

プープー ドキドキするよ スマホ音(子)
震災と 生命を伝える 八年間(母)

復興部門 優秀賞

震災で 町くずれても さいた花(子)
あの時と 同じ野に咲く 小ひまわり(母)

キックオフ Jヴィレッジ 再始動(子)
待ちわびた 我が子が駆ける 初ピッチ(母)

ぼくたべる しゅんのさかな おいしいな(孫)
孫のため 辞めてたまるか 魚とり(祖父)

親せきに 送るまごころ 甘い桃(妹)
白桃や 我が故郷の 希望の美(姉)

スパーに 並びはじめた 福島産(子)
風評に 負けじ農家の 底力(父)

ふくしま応援部門 最優秀賞

がんばって 豊かな自然 とりもどせ(児童)
復興へ とどける応援 福島に(児童)

福島へ ワン・フォー・オール 心がけ(児童)
苦難こえ 波がほほえむ 太平洋(児童)

福島県 夢に向かって かけ上げ(児童)
五色沼 大きなえのくの パレットだ(児童)

鶴ヶ城 れきし好きには たまらない(児童)
さくらゆれ どうぞと建つ 鶴ヶ城(児童)

赤へこ様 福島に福を あたえてね(児童)
美しい 海のすがたの 福島県(児童)

ふくしま応援部門 優秀賞

もう一度 取りもどすんだ あの笑顔(児童)
またいつか えがおあふれる 福島県(児童)

ふくしま県 復旧するの がんばって(児童)
ふくしまの 復旧たすける みんなだよ(児童)

おきあがり こぼしあがが こせいてき(子)
小法師の 雪舞(正月 思い出す(父)

キヒタンに 会いに行こうよ 福島県(児童)
ももりんも みんなを待ってる 福島県(先生)

福島は みんなで守る 笑顔の輪(児童)
鶴ヶ城 桜に包まれ りっぱだなあ(児童)



